

1. 件名：「玄海原子力発電所4号機の安全性向上評価届出について」
2. 日時：令和3年11月12日（金） 10時30分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁 原子力規制庁内会議室（※一部TV会議システムによる出席）
4. 出席者：

原子力規制庁

安全性向上評価チーム

戸ヶ崎安全規制調整官、塚部管理官補佐、御器谷管理官補佐、沼田主任安全審査官、佐藤主任安全審査官、宮本安全審査専門職、儘田主任技術研究調査官、伊東技術研究調査官、川口技術研究調査官、西村技術研究調査官

実用炉審査部門

宮嶋安全審査官、藤川安全審査官

九州電力株式会社

原子力発電本部 安全・品質保証部長 他7名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・玄海原子力発電所4号機 第2回 安全性向上評価の概要について
- ・実用発電用原子炉の安全性向上評価届出に係る改善事項に対する取組み状況について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	よろしくお願いします。
0:00:02	はい。原子力規制庁のミヤジマです。ただいまより現開発玄海原子力発電所4号機、第2回安全性向上評価の概要についてのヒアリングを開始いたします。それでは九州電力のほうから説明をお願いします。
0:00:20	はい、九州電力のオオコウチ率、それでは本日お配りしております資料1資料2-1の資料1、玄海原子力発電所4号機第2回安全性向上評価の概要についてこちらの資料をもちまして、第4号機の第2回の届ける書の内容を説明させていただきます。
0:00:38	まず内容についてなんですけれども、預議題に関する所内容としましては、宴会へ消火全焼3号機第2回に届けると重複してる箇所が大部分となっておりますので、3号とのそういう箇所を黄色蛍光ペンにて記載しております。
0:00:55	本日はそういう箇所を主に内容説明させていただければと思います。
0:01:03	それでは沼津市スライド言い方1ページ2ページになりますけれども、こちらではそのオペレーションの構成を記載しております。
0:01:11	剛性につきましては運用ガイドにおけるロケーション記載事項と同様なものとなっております、こちらは3号、
0:01:18	これがないような値。
0:01:23	先ほどスライド3ページになります。こちらからは一般ロケーションのファンクションの内容を説明させていただきます。
0:01:30	3ページにつきましては、第1章安全規制によって法令への適合性が確認された範囲、まず第1章の構成と記載方針ですけれども、こちらは別途IAEA安全ガイド、時SG4.1の典型域目次に従いまして、
0:01:48	今回の玄海4号機につきましては、第十三回定期事業者検査終了時点のプラントの最新状態について、許認可文書等を参考にして記載しております。
0:02:00	第1回目の届け出で、今後検討とした箇所につきましては、下の図に記載しているうちの緑で囲っております言うSAでPWRの意識やプラントメーカーの設計と書道こちらを用いまして今後検討箇所を記載の充実を図っております。
0:02:20	下の4ページになります。こちらからは、第2章安全性向上のためには、実績を措置の中身について説明させていただきます。
0:02:30	まず2-1の安全性向上に向けた継続的取り組みの方針についてですけれども、
0:02:36	こちらでは、別途、原子力安全の自主的、継続的改善に取り組むにあたっての弊社の方針目的を記載しておりますけれども、内容につきましては、玄海3号機第2回と同様となっております。
0:02:49	続きで再度5ページになります。こちらでは、
0:02:53	安全性向上の継続的取り組みの体制についてですね示しております。
0:02:59	こちらについても3号機第2回と同様の内容となっております。
0:03:08	さっきSI6ページになります。こちらでは安全性向上の継続的取り組みの体制について記載していますけれども、図に示していますのは、安全性向上の継続的取り組みを実施する一義的責任を負う者がおりまして、

0:03:24	協力会社、メーカー等と一体となって取り組んでいることを示しております。
0:03:28	また取り組みを行うに当たりましては、自主規制組織、ジャストといった自主規制組織からの影響力が助言、
0:03:37	また知識の方始めとしたステークホルダーとのコミュニケーション活動を通じていただいた意見要望等を踏まえまして、取り組みに臨んでおります。
0:03:47	続きでスライド 7 ページになります。こちらでは安全性向上評価の実施体制を記載しております。
0:03:54	体制につきましてはこちらも玄海 3 号に玄海 3 号機、第 2 回届け出書となっております。
0:04:04	下げてスライド 8 ページになります。こちらでは弊社での新型行う心配をした
0:04:13	容器さしておりますけれども、こちら評価時点
0:04:19	4 号機における、この新型このベースの対応、対策を記載しておりますけれども、こちらは玄海 3 号機二階と同様の内容となっております。
0:04:30	続けてスライド 9 ページになります。
0:04:33	こちらからは、保安活動の実施状況について説明させていただきます。
0:04:39	こちらの項目では、本規程にK定められてます。本冊に加えて、発電所の安全性及び信頼性のより一層の向上に資する自主的な活動を含めた改善活動の実施状況を記載しております。
0:04:54	評価対象期間につきましては、4 号機第 1 回の評価機関の翌日に当たります 2019 年 11 月 21 日から今回の第十三回の定期事業者検査終了時点での 2021 年 4 月 15 日までが対象期間となっております。
0:05:11	評価項目評価手法につきましては、3 号、第 2 回イトウの傾斜と同様となっております。
0:05:17	評価結果につきましては、改善活動が盆活動に定着し改善継続的な見直しが行われており、
0:05:25	またその(4)活動を行う仕組みが適切かつ有効であることを評価しております。
0:05:32	はい。
0:05:36	続きで再度 10 ページになりますが、こちらでは保安活動の実施状況の中で
0:05:42	当社の中でしました主な改善活動を記載しております。
0:05:46	こっこのページに書いておりますリスク情報活用した意思決定プロセスの構築、有毒ガス発生時の体制整備に係る社内マニュアルの改正及び教育の追加縁系シーケンス盤更新及び制御用地震計更新
0:06:02	地下の(5)につきまして 3 号でも実施していた項目になりますけれども、4 号でも同様に実施をしております。
0:06:12	堰でSIが 11 ページになります。
0:06:15	こちらでは重大事故発生及び拡大防止に資する多様性拡張設備をB追加的に配備した設備について、調査をして内容を記載しておりますけれども、今回の評価時点におきましては、
0:06:31	新たに設置した設備等はなかったことを記載しております。

0:06:40	資料 12 ページになります。これから一服内外の最新の科学的知見及び技術的知見について御説明いたします。
0:06:49	今、今回の評価対象期間における原子力安全に関わる国内外で得られた最新の科学的知見及び技術的知見について、収集をしまして、
0:07:00	吊っ当該ページの中段に記載しております四つの観点で新知見を抽出しまして、各対応状況について記載しております。
0:07:12	挙手再度 13 ページになります。
0:07:15	えっ。
0:07:16	13 ページに進みます示していますのが今回の評価対象期間の中で新たに収集した情報と、それらの対応状況を示しております。
0:07:25	評価対象期間では約 2000 件、情報収集をしております、うち範囲が必要な新知見としましては、33 件抽出しております、うち 2 件がまだ反映中となっておりますが、それのその他の 31 件につきましては、
0:07:42	すべてシンチ記載済みとなっております。
0:07:50	仮設場 4 ページになりますが、こちらでは、第 1 回届け出時に反映中とした知見の検討状況を記載しております。
0:07:59	第 1 回届け出時に反映中とした新知見 2 件ございましたけれども、こちらについては、第 2 回の届け出評価時点においてもまだ挙げちゅうといった状態になっております。
0:08:15	次に、スライド 15 ページになります。こちらでは第 1 回届け出時に、
0:08:20	ご異議容器検討中とした知見の検討チームを記載しています。
0:08:25	代行届け出時に汎用品検討中としていた
0:08:29	意識が約 50 件ございますけれども、うち 2 件を今必要な新知見というふうに判断してます。その 2 件につきましては今回の評価期間中にすべて反映しております。
0:08:45	次の 16 ページになります。
0:08:48	2-2 の 3 プラントウォークダウンですけれども、今回の評価期間におきましては、大きな設備の変更等はなく、確率論的リスク評価及び安全裕度評価の変更を行ってないことから、プラントウォークダウンを実施しておりません。
0:09:05	続きまして 2-3 安全性向上計画ですけれども、こちらでは、保安活動により安全性向上のための追加措置を抽出しております、以下 4 件を抽出しております。
0:09:17	いたします 4 件のうち、下 3 件につきましては、玄海 3 号機と同様の
0:09:24	生活決まっています。
0:09:26	4 号機の特有の追加措置としまして、一番上に記載してます下火制御盤更新を抽出しております。
0:09:34	内容としましては、施設の構成部品が製造中止品中止となっていることから、設備の保守性して工事を図るために、最新のデジタル式制御盤に更新することを議論しております。
0:09:48	原子炉の事故事例、こちらには追加措置の内容を記載しておりますけれども、

0:09:55	一番四つにして示してます追加措置 1 番目の下火制御盤更新についてですけども、
0:10:01	県される効果としましては、下火制御盤を現行からKK惜しん行うことで、システム構成が簡素化されることによる保守性の向上、また自己診断機能が充実されることによる設備の信頼性の向上に期待をしております。
0:10:19	機構の 3 件につきましては 3 号機と同様の内容となっております。
0:10:30	続きまして、所になります。
0:10:33	内部評価の結果についてですけども、まず原子力に関わる安全性信頼性向上委員会による評価というところで、こちらでは外部有識者の視点をさらに安全性向上に生かすこと目的に、いかにして記載しております各委員から、
0:10:50	届け書の内容について聞きご助言をいただいております。
0:10:55	二つ目のポツですけども、原子力電力各社による電力関連につきましても、これまで通り実施しております、下に記載しております乗車ABを依頼して確認をいただいているところになります。
0:11:12	資料の 19 ページになります。
0:11:15	ここからが第 3 章安全性向上の
0:11:18	安全性の向上のため自主的に講じた措置の調査分析について御説明させていただきます。
0:11:26	まず 3-1、安全性向上評価に係る活動の実施状況の調査についてですけども、
0:11:32	こちらにつきましては、前回安全性向上評価届け出の評価していこう評価結果が変わるような大規模な工事等を行っておりませんので、改めて調査分析は実施しておりませんのでその旨を受ける者にも記載をしております。
0:11:50	続きまして 3 に安全性向上に関わる活動の実施状況に関する中長期的な評価ですけども、変更、こちらの中長期的な評価につきましては、新規制基準への適合性、
0:12:03	いえ。
0:12:05	適合性審査の合格後、約 5 年後の運転経験が蓄積する特殊特需特定重大事項対象施設の設置法の届け出にて実施する予定となっている。
0:12:20	続きまして、最後 20 ページになります。
0:12:23	或いは第 4 章総合的な評定について御説明させていただきます。
0:12:29	まず一つ目のポツですけども、評定結果としましては、
0:12:33	今回の評価結果につきましては、第 1 章から第 3 相モデル内容踏まえまして評定結果を見直す必要がある調査結果または評価結果をなく、
0:12:44	温めて第 1 回受けてから評定結果については変更をしております。
0:12:52	このうちなりますけれども、これまでの外部評価の対応状況としまして、以下 3 ページにわたって、これまでの外部評価でいただいたご意見ご助言
0:13:02	またそれに対する対応状況について記載しております。
0:13:06	こちらの内容につきましては、玄海 3 号機発表状況です。
0:13:14	最後に 11 ページにつきましても、これまでの内部評価の対応状況について記載しておりますけれども、こちらの内容も玄海 3 号機、第 2 回の届け出書、

0:13:25	事件と層序については変更ございません。
0:13:31	。
0:13:35	サブチェン 2 ページ目になります。こちらこちらにもこれまでいっぱいある評価基準、
0:13:41	延期さしていますけれども、洗いをにつきましては玄海 3 号機第 2 回、また川内 2 号機第 4 回のときにいただいたご意見ご助言いただきますけれども、よう状況につきましては、砂防 2 回渡せないにも 4 回のときからの対応状況としましては変更はございません。
0:14:02	最後 23 ページ目になります。
0:14:05	こちらでは、今回抽出しました追加措置の時実施時期について記載しております。
0:14:11	今回 4 件。
0:14:13	追加措置を抽出しておりますけれども、実施時期につきましては、すべてが第 14 回定検違いの定検にて実施する予定となっております。
0:14:25	設計サイドに 14 ページになります。
0:14:29	こちらで場第 1 回届け出時に抽出されました追加措置の実施状況について記載しています。
0:14:37	実施状況につきましては、第十三回定検で実施予定だったものにつきましてはすべて完了となっております。
0:14:45	今足すようPRAから抽出した土地と安全裕度から抽出した措置につきましても、
0:14:51	N社 21 年 1 月までにすべて完了しております。
0:14:55	そして、パイプスペース及びフィルタベント等につきましては、22 年度実施予定となっております。
0:15:04	以上で設計段階 4 号機、第 2 回補助給水販売。
0:15:12	以上となります。
0:15:20	それでは資料 2 の下の玄海 4 号機形態に書いて統計についてよく見ますと、安全性向上評価統計に届け出に係る改善事項に対する取り組み状況についてご説明をさせていただきます。
0:15:35	その前提といたしましたの改善内容につきましては、玄海 3 号機、第 2 回安全性向上評価届け出書と同様の内容となっております。
0:15:46	道の見方 1 ページでございますけれども、あて施工商標書いある改善事項に対する取り組み方針でございます。
0:15:54	市長発言を原子炉の安全性向上評価届け出に係る改善の考え方に示されております。実用発電用原子炉の安全性向上評価続け改善事項に対しまして、対応更新統めぐりますため、当社における、今後の改善計画を作っております。
0:16:13	本資料では玄海 4 号機、第 2 回安全性向上評価届け出書におけます改善計画に対する対応状況について記載しております。

0:16:23	経営改善事項または解析結果に限らず、今後も継続して篤正ポジション評価に資する調査分析解析等に対しまして、各分野における専門家が、これらの内容判断できる程度の最近なるよう改善に取り組みをしてございます。
0:16:41	続きまして、602 ページをご確認をお願いいたします。
0:16:49	今回、現在本部大きい大会届け出書において改善した項目につきましては、赤破線で困っている五目になってございます。
0:16:59	詳細につきましては別途御説明資料へ行った 4 ページをお願いいたします。
0:17:10	教育委員会 4 号機第 2 回届け出におけます改善事項といたしまして、最新の状態、アズイズの記載につきまして米国のいうFSARや、IAEAの前の
0:17:22	ADS四級等散歩にプラントの最新状態をひとつ把握できるように記載する。
0:17:28	経営改善計画といたしましてADS予約権下方台車の作成となっております。
0:17:33	号炉につきましては玄海 4 号機、第 2 回ということで支店の対応状況にございませぬけれども、
0:17:39	の安全回答ADS雪の徹底的目次ごとに最新の研究計画書等により、評価時点におけますさしてもらってる状況を記載してございます。
0:17:51	先ほど資料 1 でも御説明あの説明させていただきませぬけれども、第 1 回溶け地点で今後検討等をしていた箇所につきましては、下の図の通り、記載の充実を図ってございます。
0:18:03	第 1 回ちょっと県に時におけます所につきましてはDCRCー典型的昔に従ったそうなって作成してございませぬけれども、今回／戦略を持っている項目でコンポ検討としていた箇所につきましては、
0:18:20	USCPプランのabcd、
0:18:23	という構成、それを踏まえまして、プラントメーカーの設計図書と山荘し、該当する場所で記載を、記載のページ数を図ってございます。
0:18:36	今後の体制計画につきましては、今後検討と記載している項目がございませぬので、それにつきましては検索継続的に記載の充実をやっていってちょっとしてございます。
0:18:49	資料にも提出説明にイトウでございませぬ。
0:19:04	はい。御説明ありがとうございました。原子力規制庁のミヤジマです。
0:19:09	これで 9 電さんから御説明以上ということ。
0:19:13	よろしいですかね。
0:19:16	はい、九州電力方向ずらず資料 1 資料 2 の御説明については以上になります。はい。
0:19:23	規制庁のミヤジマありがとうございます。では、今まで説明といった点について何かコメント、ご意見等ありましたらよろしく願います。
0:19:43	すいません、原子力規制庁のミヤジマです。まず、
0:19:48	玄海 3 号機からの変更点にちょっと着目してお伺いします。すいません、すべてスライドの資料 1 のほうの 6 ページ。
0:20:00	これ自治体からの
0:20:02	意見立てる要望だっというその部会からいろいろ

0:20:06	出てきたものを集約して9電のほうでまとめ上げて反映してるっていう認識でよろしいでしょうか。
0:20:19	九州電力のオオコウチです。ご認識の通りでございます。
0:20:26	はい。原子力規制庁ミヤジマでそうですね当所FSARの話とかっていうのもいろいろあったのかなというふうに認識していきますので、そういうところもすべて抽出して必要であれば反映するという認識しております。
0:20:41	あと、すいません、資料116ページ、すいません、施設管理、下火の制御盤更新のところなんですけれども、これもともと玄海さんと呼んで、
0:20:52	適されてるもの物が違って、
0:20:56	かな、これは44特有であって、構成部品が古いので、
0:21:01	リプレイスしますよ。
0:21:03	レースそのリプレイスするのでもちろん補正だったり信頼性向上。
0:21:07	図るために新しいものを新型の正規版にしますよっていうことを記載いただけてるっていう認識でよろしいですね。
0:21:17	九州電力の方向で進めて3号機につきましては、第11回の過去の定検のときにPOSたびに制御盤の更新でここに記載している同様の内容をすでに実施しております4号機については今回のタイミングで実施をしますので、その旨を記載させていただいております。
0:21:38	はい。原子力規制庁ミヤジマです。はい、3号機について第1回定検で入り繰り済みということは、はい、ありがとうございます。理解しました。
0:21:47	何か質問や御意見等ございます。
0:21:56	規制庁の伊藤ですけど、確認事項があるんですけど、よろしいですか。
0:22:00	はい、伊藤さんよろしくお願いたします。
0:22:04	資料1のですね、パワーポイント12ページなんですけど。
0:22:12	一応これでいろいろ調査のやつが出てきて、最新知見が得ることで出てるんですけど。
0:22:18	こないだの12月からですね。
0:22:21	玄海さんのFSRの資料でですね一応も
0:22:25	リスクを低減するための一つとして、RPCの昨晚シールを採用して、これはウェスティングハウス社のウェスティングハウスですけど。
0:22:35	この時点ですね、これな。
0:22:38	当玄海は三菱メーカーはメーカーす済みそうだと思うんですけどそれ以前ですね、昨晚指針とかそういうやつを採用は
0:22:48	計画性のか今後の計画はどうなのを外してください。
0:23:00	はい。
0:23:20	ことを示す。
0:23:23	いただきました外の審議の配当についてですけども、こちらは今、社内のほうで検討をしているところでございます。
0:23:35	作成チームとして土木演者名簿が、それは何かわかってますか。どうぞ。
0:23:44	はい、九州電力のオオコウチです。申し訳ございません。スケジュールのめどについては、現状まだえったってない状態です。

0:23:55	最初についてございますけれども、2番目にですけども、
0:23:59	三番のですね、息子評価結果面で
0:24:03	この採用もですね、監視機器構成物を用いて評価してあったんですけど。
0:24:09	それについてはですね、
0:24:12	本文のほうではどう考えてますか。どうぞ。
0:24:27	九州電力テラサキですけども、すみません、ちょっと聞き取りにくかったんで、もう一度お願いできますか。
0:24:34	規制庁の伊藤です。高山さんのFSRではですね、新しい機器故障率を電柱研から公開する図からですねそれに基づいて評価しましたというふうな
0:24:49	報告があったんですけど、蹴るの方としてはその機器故障率の取り扱いはどう考えておりますかということです。
0:24:59	電力のテラサキです。ありがとうございます。弊社もですね、
0:25:03	あと同じように、NRCも中高層賃金機器故障率をしたPRAをやっていくことを考えておりまして、それは次回、
0:25:16	いや、
0:25:17	ところで渡させていただこうと考えております。以上です。
0:25:23	規制庁の工藤です。わかりました。低層部の確認事項なんですけど、パワーポイントの17ページ目。
0:25:31	先ほど保守執行部のですね制御盤更新なんですけど、この効果をですが、定量的な評価をしてますか。
0:25:43	九州電力のテラサキですけども定量的なっていうところでも言いますとPRAっていう観点で言いますとまず
0:25:51	下火にデジタル安全系ではないので今のPRAのほうで入ってございませんので、そういった意味での定量評価というのはやってないというのが現状でございます。以上です。
0:26:04	わかりました。伊藤の質問は以上でされたとした。
0:26:11	はい。規制庁ミヤジマですとかに会議室から
0:26:14	はい。
0:26:19	規制庁ヌマタです。ちょっと今の17ページのところで、私もちょっと確認してるところあるんですけど、地タービンの制御盤更新まあPRAとは関係ないと言われてたんですけども、基本的にこれは主タービンの制御
0:26:34	のバウンダリは、
0:26:36	どこまでかちょっと簡単に教えていただけますか。
0:26:46	いやあの復水器だとか
0:26:49	主蒸気隔離弁だとかあっちRCこの辺は入ってないのかどうかその辺ちょっと教えてください。
0:27:00	九州電力のオオコウチです。復水器の制度が入ってないんですけども、この耐専下火の制御盤につきましては、
0:27:08	主蒸気止めるってやったりとか収支壁に加減弁、それらの下火の速度より負荷の制御を行うための盤となっております安全研究と、

0:27:18	はい、その安全系とは関係ないところとなっております。はい。わかりました。 要は
0:27:26	PRAでモデル化してるところには、今回下火制御盤かかるものは一切関係してないってことは理解しました。
0:27:37	そこでちょっと、一つデジタルになったところでシステム構成が簡素化されるってあるんですけども、そこちょっと前のリレー方式からどういうふうになって変わったのかをちょっと教えていただけますか。
0:27:57	はい、権益九州電力のオオコウチです。まずこちらの下着制御盤の更新についてですけれども、こちらは従来からすでにデジタル式の制御盤を採用してまして、今回はその制御盤もともと使っていたこのカード類のもの部品等が
0:28:13	ちょっと中止になっていなくなっていましたので、また景気に新たに取替えるといった
0:28:23	よくなっております。
0:28:26	パターン2 消火につきましてはお聞きに
0:28:31	取替えるにあたってのものが
0:28:34	よりコンパクトなものになりましたので、そういった面を言いますとその保守性の向上というところがKitaさんのほうで記載しております。
0:28:44	規制庁ヌマタです。簡素化っていうのはジャーのポンプとなったことで理解していいんですね。
0:28:50	ロジックだとか変わったとかそういうことではないということよろしいでしょうか。
0:28:58	影響部がオオコウチするロジックが変更して、
0:29:04	すいませんはちょっと切り離してもう1個お願いします。
0:29:11	はい。
0:29:12	出席してこうこうですけども出ますでしょうか。
0:29:17	はい、聞こえてます。
0:29:18	続けてください。
0:29:20	すいません。
0:29:23	御説明のほうは同期と言ってましたでしょうか。
0:29:27	ほとんど先ほどのこちらヌマタからの質問。
0:29:31	対する回答がちょっと飛び出て機構なかった状態なので、
0:29:35	初めからお願いできますか。
0:29:37	そうしました。
0:29:41	ものにつきましては、
0:29:44	システム構成のほう簡素化をしてまして、それに伴いますものが全体的にコンパクト化したものとなっております。
0:29:53	五つの回線、最初冒頭に御説明させて、先ほど説明したんですけども、今回の方針につきましては、もともとデジタル式の制御盤。
0:30:02	だったんですけども、その使っているカードフィン等の
0:30:09	製造は中心になりまして今後の保守性の向上のため、別の後継機に取りかえを行ったものとなっております。

0:30:18	規制庁の松浦です。はい、理解しました。最後にちょっと一つだけ、ちょっと方向性を確認したいんですけども、多分、この前二次元のシーケンスの場を変えられて今回タービン変えたってくと準じいつかはPRAに関係するところの審決場も変わって可能性があると思うんですけども。
0:30:38	出たような機器故障率っていうのはどういうふうに整備する方針かをちょっと教えてください。
0:30:53	小電力のテラサキです。理事者部品の故障率につきましては、現状のPRAではメーカーの原岩さんが持つてる値ですとか、
0:31:06	そういったものを入れておまして、今後
0:31:10	いや、更新であるからデジタル化ときは、そういった堰を入れているものになると思ってますけれども、
0:31:19	今、具体的にどういったものだっていうところをちょっとすみません方。
0:31:23	ちょっと今持ち合わせてございません。
0:31:26	以上です。
0:31:27	規制庁の私考えたわかりました。いや私がかちょっと懸念してるのは今NRAのここへ何だっけあの電中研さんが整理している故障率が
0:31:37	多分リレーが変わっていくということと理解してますので、デジタル機器が多分整備が必要なんじゃないかということと九州電力さん、どう考えるかっていうのを確認したかったんですけども、じゃあ今の話だと今はメーカーのやつを使っていて、
0:31:54	淳二投資していくことを考えてるっていう理解でよろしいでしょうか。
0:32:02	九州電力のテラサキの認識の通りです。
0:32:10	ほかに規制庁側からコメント、質問等ございますでしょうか。
0:32:18	規制庁のミキヤです。2点ばかりお伺いします。
0:32:25	まず一つ目のほうの資料で4ページ目、ごめんなさい、3ページ目か。
0:32:32	なんですけれども、
0:32:34	ここで
0:32:36	時SGの4.1の典型的目次に従って、
0:32:41	届け出書を作成されているって
0:32:44	3号で同じことを令和たんですけども。
0:32:48	これは関西電力のように今後TCDに合わせるとかそういった計画はありますか。
0:32:56	質問の意図はご承知かと思えますけれども、9月に行われた炉安審燃安審において、
0:33:05	OF系でしょうと。コンフィグレーションマネジメントだとか防災の資料が重複しちゃってるので。
0:33:13	このFSARの届け出時の届け出書の作成だ。
0:33:18	そのものが目的となってしまっていて、もう作ったばかりで、
0:33:23	メーカー、あまり意味がないっていうようなご要望いただいていたと思うて。
0:33:29	関西電力なんかは、そういった重複感なくすために、PCTを共通化してるとかいうところなのかなと思ってるんですけども、

0:33:40	九州電力の考えをお聞かせください。
0:34:01	はい。戦力のオオコウチチームAと加世田DPF取り入れる案についてですけども、現状としては
0:34:11	おっしゃるのケースにつきましては、DS409の目次に従った、
0:34:15	対応するものになりますので、直接入れるっていうことは難しいんですけども、そこへ一緒の作成につきましては、
0:34:26	そういった点も踏まえて充実化を図るよう検討していきたいと思っております。
0:34:35	はい。規制庁のミキヤです。
0:34:39	防災の資料はとりあえず置いて、
0:34:45	多弁重複として、うん。
0:34:48	大変だろうコンフィグレーションマネジメントとこのFSARの一章のところなのかと思ってるんですけども、
0:34:57	逆に交付レーションマネージメントの資料をFSARのこのCSGO定位置に合わせるのかそういった工夫もあるんじゃないかと思うんですがそこはいかがですか。
0:35:11	給食電力のオオコウチです。
0:35:15	おっしゃってた通り積CMを今回のこの一緒のほうに排出するっていうことは可能かと思うんですけども、作業としましてこれまでも届け出書とか許認可部署をもとに、
0:35:29	このPS及びの目次に
0:35:32	当てはめるような作業を終わってますので、同様な作業が発生はするのかなと思っております。
0:35:41	最初のミキヤです。そういう意味で炉安審で、
0:35:47	御説明いただいた内容というのは、仮に
0:35:51	CDなり外傷が共通化したとしても、
0:35:57	それは解決しないんですか、作成することが目的になってしまうという問題についてなんですけど。
0:36:17	はい、九州電力のタテワキといいます。
0:36:21	いろいろ
0:36:22	Padをですね、作成しておりますけどもそれをそのまま第1章に延期するっていう形になると、JF詳しいかなっていうふうには思ってるんですけど、やはりそれなりに体裁を整え直したりだとかですね。
0:36:38	そういった作業はやっぱり発生するのかなというふうには考えております。
0:36:45	廃棄処分ミキヤです。作業はあると思うんですけどもその提出するタイミングが違うという観点ですかね。
0:36:55	頭公開非公開の違いとか、
0:36:59	それは当然ある違いだと思っていて、
0:37:04	私がお伺いしたかったのは問題点がどうすればクリアするかといったときに、
0:37:13	このFSRの制度としては、
0:37:16	特段、
0:37:18	ガイドなりで、

0:37:20	詳細に
0:37:22	し、統合届け出書の構成を
0:37:26	要求していないこともあって、そこは、
0:37:29	事業者の自主で、
0:37:32	重複感なり、
0:37:35	その目的になってしまうことを回避できるのではないか。
0:37:40	と考えているんですけども、
0:37:43	その認識は間違っていますか。
0:37:54	その考え方に相違はないかなというふうに考えております。我々もですね自主的に改善を図っていらっしゃるま塾があるようなところだとかは改善していきたいと思っております。そもそも
0:38:10	全体の第1回の届け出の際に、ほかにいろいろ規制庁さんとも打ち合わせさせていただいて、今の形にしていくということで作業を進めてきまして、ようやく
0:38:25	えーとですね、今後検討ということで課題として残っていたようなところもようやくなくなりつつありますのでですね、今後またさらに予備読みやすくなるようになったかあん自主的改善をしていきたいなというふうに考えております。
0:38:45	はい、規制庁のミキヤです。わかりました。
0:38:54	制度上なんか回避しなければならない問題点とかあればですね、炉安審燃安審も一つの提言の場だとは思いますが、実際にこうやってヒアリングでお話をお伺いしておりますので、こういったところで、
0:39:10	ご紹介いただいてもいいのかなと思っておりますが、今回炉安審燃安審でいただいた話については、なかなかFSARの制度の話としては何か検討資料問題点ではありまして、ちょっとお伺いしました。
0:39:26	例えば今後ですねこの自主的な取り組みというところの中で、DCコンフィグレーションマネジメントのほうに合わせるとかですね、FSARの構成を少し変えるとか、そういった改善の見込みが例えばですね、ぜひ、
0:39:42	ご紹介いただければと思います。
0:39:46	それからもう1点なんですけれども、
0:39:50	これ毎回お伺いしてるんですけども、資料2の改善事項の一番最後につけていただいているFsへの公開会で議論させていただいて今後取り組みますと、
0:40:03	14ページ目ですかね、御話なんですけれども、これ/3号と今回大きな変更がないということで、
0:40:13	ご要望もですね2022年度以降の届けて今検討予定のものはいいんですが、
0:40:19	例えば、他社の水平展開を好き取り込むっていうような話については、まだこれは給電社内的な検討を始められていないのかなという書きぶりとしては届け出への記載を含め検討するというので、
0:40:37	やっていますので、こういったものについては今後の見込みみたいなものをですね、ぜひかけるのがあればですね、来年度において検討するとかですね、もしくは県であればぜひ書いていただきたいなと思っております。
0:40:51	あと、津波のこの安全裕度評価についても同じです。

0:40:55	ここはちょっと九州電力としての取り組みなのか、また電事連
0:41:00	電中研の取り組みなのか、ちょっとそこら辺も含めてですね、もう少し突っ込んで書いていただけるとありがたいなと思います。
0:41:12	あとはこれ以前にも口頭ではお伺いしておりますけれども、
0:41:17	この表の中にですね、フラジリティ研究の意見交換の話ですとか、
0:41:23	あった点は、
0:41:27	TRMインハウス化みたいな話もですね書けるのであればぜひ盛り込んでいただきたいなど、これはちょっと今後の要望がありますが、いかがでしょうか。
0:41:43	はい、九州電力のオオコウチです。及ぼにつきましては承知いたしました。記載の充実化検討図っていいかなと思います。
0:41:52	はい、よろしくお願いします。以上です。
0:41:58	九州電力ホンダです。
0:42:01	皆さんいろいろ等対処の仕方といいますか。
0:42:07	いろいろお客をくださってるということでありがとうございます。当社としましてはですね、今後
0:42:15	どのように、具体的に変わっていくのがよいのかって、検討いたしまして、
0:42:21	引き継ぎにおいてご相談させていただきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。以上です。
0:42:27	規制庁のミキヤです。ちょっと私もですねこれ各コードものは、洗ってはみたものをちょっと足かせとなっているものが何かあるのかどうかははっきりわからなかったところもあったので、東京支社経由で何度かお伺いをさせていただいておりましたけれども、
0:42:44	今後のところもですね、引き続きちょっとこういう何か問題点あれば、ぜひ教えていただければと思いますので、よろしくお願いします。
0:42:55	こちらこそどうぞよろしくお願いいたします。
0:43:04	はい、規制庁ミヤジマです会議室から何かご意見ありますか。
0:43:11	よろしくお願いします。
0:43:26	規制庁のちょっと儘田のほうからといって、
0:43:30	質問させていただきます。
0:43:34	資料1のほうの10ページのところですでにこれと玄海3号とのときと同じですというふうになんと言われたのでそのときに説明されたらちょっと申し訳ないんですけどちょっとわからないところがあってですね、教えていただきたいんですが、この主な活動の1行目のところに、
0:43:52	RIDMプロセスの構築というところでええとこれそれにプロセスは構築して2020年4月4月から運用開始していて、今後そのプロセス適用範囲の拡大を図っていくと書かれているんですが、
0:44:07	現時点で2020年度4月からもうすでに運用を開始されているのでその一番も適用されているのかなというふうに思うんですが、これ具体的に例えば現在の時点での適用範囲、どんなところに適用されてる方がもし分かれば、
0:44:23	具体的に教えていただきたいというところなんです。

0:44:33	はい。九州電力のオオコウチです。RIDMのプロセスの適用範囲につきましては、当庫の適用について、社内の中でマニュアルを定めてまして、その中で、
0:44:46	新たに工事実施された運用変更する場合につきましては、もPRAとかのリスク情報を踏まえて検討するようなプロセスを行うように明記しております。
0:45:05	その制度へとわかるんですが、例えば具体的にどんなところに、例えば反映されてるとかってそういうことについては、ここでちょっと説明御説明いただくことはできないんですが、例えば何か検査制度の中でこんなところに利用しているとか、そういうのがあれば、別途教えていただければと思うんですが、
0:45:36	九州電力の感じです。
0:45:39	remの
0:45:42	地区というところで仮想先ほどオオコウチの方から申し上げたようにですね条例の決定論的な評価からなんすけに加えてPRAを抱えられる情報も組み合わせるようなプロセスに築したものと、
0:45:54	その他ですね現状規制検査に活用する内的のレベル1レベル1.5PRAのモデルの高度化、またTCGHリスクモニターを導入しまして定検っていうのですねリスク管理を実施することであったり、民鉄についても最近なんですが、リスクモニターを導入して作業の注意喚起といったものに発表をしているところです。
0:46:16	現在の実績としては以上のところです。
0:46:33	規制庁原子力規制庁の戸ヶ崎です。今の点なんですけど、仙台っていう1号の第4回の概要資料には、
0:46:44	参考資料が続いてまして。そこでRIDMを計画が書かれて先ほどご説明があったのはフェーズ1の御説明だと思うんですけど。
0:46:59	フェーズ2の中では、保安規定における運転制限条件の改善というのがあって、
0:47:07	ATENAガイドラインとしてその取りまとめというので、その2021年9月末をめぐるといふふうには書いてあるんですけど、これは前のちょっとヒアリングでも、これも
0:47:23	この時期になってますので、後の状況どうなんですかとかお伺いしたいと思うんですけど。
0:47:32	そういうのも含めて、状況をちょっと教えてもらいたいんですけどこの参考資料は、今回は
0:47:42	つけてないんですけど、つけることは可能ですか。
0:47:49	九州電力のお連れてサポにつきましては
0:47:54	前回御配りあった川内2号機の4/切れたときの配慮することにより、また参考のページをさせていただきたいと。
0:48:04	はい。原子力規制庁ですので、そのときに、参考資料をそのままの状態でつけられると、その先ほどの本店のATENA外部の対応ですねそれが2021年9月、
0:48:21	小松目途となってるんで、その時期を過ぎてますので、そこら辺の状況も
0:48:31	修正してもらおうというあると思うんですけどそれはいかがですか。

0:48:36	すでに多くのテラサキです。続きLCOの改善等につきましてはご指摘の通りここから少し遅れているんですけども、状況、最新化した形で示できればと思ってます
0:48:52	年代にガイドラインを取りまとめるとか、今のそういったスケジュールでATEN Aと連携して活動している状況です。以上です。
0:49:02	はい。規制庁の古作です。よろしくお願いします。
0:49:08	あとちょっと引き続き私のほうから何点か確認をさせてもらいたいんですけど。
0:49:14	まずですね
0:49:19	先ほどご説明がちょっとあったんですけど。
0:49:24	6 ページの実態等の意見要望ということで、例えばどのような意見が出たのかっていうのは教えてもらいたいんですけど。
0:49:47	聞こえてますでしょうか。
0:49:52	いずれに行われてさ、例えば大島県の専門委員会とかで説明をした際はですね、やっぱり今後こういったPRAの結果が出たのですね、こういった専門委員会の場なんかでですね説明をして欲しいというご要望中はいただいておりますので、
0:50:09	この辺は次回以降にですね、PRAの結果とか、特重を見直した炉心損傷と申し込めた評価をやっていきますので、その辺は将来的に説明することになるかと思えます。
0:50:26	以上です。はい。規制庁のトガサキですけど炉安審とかでも、このFSARのそういう結果とかを公表する、してそういう
0:50:42	そういう一般の方とにちゃんと伝わるようにいろいろコミュニケーションが必要だったという話もあったと思うんですけど。
0:50:52	そういった点でのなんか今の御説明も、その一つに入るんですけど、そういった意見っていうのは何かありましたでしょうか。
0:51:17	やってですね、実際にその場でいくと、今までも何回かといった安全に関わるどころとか説明をさせていただいて、やはり地元からですね、特にそのPRAの数字とか、そういった
0:51:33	ものについてはかなりやっぱり関心が高いみたいなので、そういったことで、今後ですね、我々何か結果が出たりとか、あと今後特重の活用なんかもいろいろと検討していきたいと思っているのでその辺は説明していくことになると思います。
0:51:52	はい。ありがとうございます。
0:51:55	通常のトガサキですけど。
0:51:58	あとですね。
0:52:01	13 ページからなんですけど、これは例えば、
0:52:14	15 ページのところ、15 ページのと言いますと、第 1 回のところで、例えば 04 なんですけど、国内外の基準等で第 1 回目の届け出のときは、
0:52:29	汎用品検討中が 32 件だったのが今回は
0:52:37	2 件についてはもう反映済みで、
0:52:40	まだ 29 件は検討中ということなんですけど。

0:52:45	これはもう前回からその時間、時間がたつてと思うんですけど、まだ検討が続いてるっていうのはなぜなのかっていうのをちょっと教えてもらいたいと思うんですけど。
0:53:00	例えば他にも勉強県の休憩とか、THAIの3県とか、
0:53:08	まだ検討中というものがありますので、それについて、
0:53:14	教えてもらいたいと思う。
0:53:17	はい、音響室、
0:53:21	基本的な回答になって恐縮ですが、今検討中としているものについては将来的に弊社の発電用原子炉を安全施工上に資する可能性がある。
0:53:40	基礎的な研究をして
0:53:43	いえ、
0:53:45	はいする可能性があるということで手続きを検討の状況を注視するという形で検討中とさせていただいておりますが、
0:53:57	ということで、今2000パスとしては検討中とさせていただきますけれども、将来的にはですね、新野家成果について進展がないようなものについてはですね、その旨、
0:54:13	反映した形になるのかなと現状考えてますけれども、まだそこまでの判断をしていないというものになってございます。
0:54:23	規制庁のトガサキですけど、逆に例えば先ほどの国内の規格基準で32件は最初、1回目のときに、
0:54:36	汎用機検討中となってますけど、そのうち、2件についてはもう反映済みになったと思うんですけど、多分それで優先順位とかを決めて検討されてるんでしょうか。
0:54:53	1億倍優先順位というものはございませんで、
0:54:59	ケースバイケースというか、当該研究に応じて一つ一つ差別化という形ではなくて一つ一つ確認して進めて進めていって、
0:55:16	以上です。
0:55:18	今日のトガサキで、例えば結構なんですけど、その国内の規格基準でその意見反映済みというのはどんなものなのかっていうのをちょっと教えてもらいたいんですけど。
0:55:34	はい。
0:55:56	上に五つ挙げますと、ちょっと届け出書本文のほうで言いますと、
0:56:03	原子力学会に民間空についてです。
0:56:09	シビアアクシデントマネジメントの整備及び維持向上に%実施基準といったものがございまして、これについては社内マニュアルへの取り組み取り込みですね。
0:56:24	以下を実施しが終わったということでもって反映済みといった形をとらせてもらってます。
0:56:34	規制庁のトガサキでございました。届ちゃんのほうに書いてあるっていうことで、
0:56:41	よろしいですか。

0:56:43	時計で正面いっばいいますとはい。表現を載せてございまして、自然検討中というものについては、(3)委託をしていて、それが別に半日済みのものについては黒丸矛盾ステータスに変わっているもの、これが
0:57:02	この表で言うところの依然円筒中だったけれども、今回はひずみといった生活に変わった、具体的な項目になります。
0:57:13	はい。原子力規制庁トガサキ了解しました
0:57:18	後程式とか、浜堤届け説明書のほうを確認させていただきますと、あと、最後に1点なんですけど、20ページの外部評価についてなんですけど、
0:57:33	今回は追加になっているのは、
0:57:37	この政府内の
0:57:41	12号の4回目とか、
0:57:45	あと、玄海3号機の3日1回目の時に意見をいただいたものが追加になっていてそれが22ページの
0:57:56	意見だというふうに考えてよろしいですか。
0:58:01	はい、九州電力のオオコウチです。ご認識の通りです。
0:58:07	原子力規制庁の戸ヶ崎です。あのタイミングとしてはそういう届け出書を出すときに意見をもらうということで、ですから、今回の西縁限界の4号機の届け出書を出した時の意見っていうのもあるっていうことです。
0:58:30	はい、九州電力を講ずるす。
0:58:34	届け出を出す際にないように、取り出す前に、外部の先生方に内容を御説明してコメントいただいております。いただいたこういったコメント、ご意見ご助言について、
0:58:49	用時する際にはこういった対応方針等をロケーションに記載をしております。今回4号二階の届け出における外部からの先生のコメントにつきましては、主にその内容の
0:59:03	修正であったりとか、細かなコメントでしたので、今回4号に該当していただいたコメントについては、
0:59:12	5ページには記載していないところです。
0:59:15	規制庁の統括責任者理解しましたので、ありがとうございます。私からは以上です。
0:59:29	規制庁の儘田です。ちょっと資料2のほうにこちらのほうも限界といったほとんど共通だということで、玄海3号とですねと共通だということだったんですがちょっと記載のが10ページのところに、今後の取り組みで改善計画の
0:59:46	上のボックスのですね、1のところでも最新の解析手法を採用したハザード解析上と実施するって書いてあるんですけど、具体的にこれ何か検討されてるのか、ここで言う新たな最新の解析手法のハザード解析なのかと思うし、
1:00:03	わかれば具体的に教えていただきたいのと、それから床のそれを反映する時期ですね、これと言うと特重の設置5って書いてある具体的にはいつなのか2022年度のかってちょっと思うんですが、ちょっとそれについてお聞きさせてください。

1:00:43	すいません九州電力の菅です。とハザードの評価を見直すというところではですね現在の第4回届けられHしたものと同様にですね、気山のロジックツリーの分岐を少し見直したり、重みづけであっていいというふうなところで、技術的な評価といったところで、
1:01:01	検討を行いまして
1:01:04	というような評価結果についても行う予定ですね軸としましては、今定期。
1:01:11	すいません。従前の建屋の評価の時期につきましてはまだ
1:01:18	次回、第1いっぱい出ない提供なりのPRAポンプをやりますので、それ以降、内モデルまず作ってからのその後の地震PRAとそういったですね、ありますので、
1:01:32	実は五つぐらい出すかっていうところはまだ計画としては明確なものはない状況です。以上です。
1:01:41	はい、わかりました。
1:01:44	それからもう1点なんです、その下のところの委員会の後に御へと白のボックスのところ、これちょっと内部事象がビジョンに書かれた評価結果変わるような大規模な工事を行っていないためって書かれ方がされていて、
1:01:59	実はちょっとこれ、同じようなその裕度評価のところも、例えば12ページのところ安全裕度評価の評価結果が変わるような大規模な工事を行っていないためというふうに書かれてるんですが、これもともと得た安全性向上評価をやるとその意義としてですね。
1:02:17	そのままやる認識としては、そもそもその内部評価とか外部の外部事象のいろんな様々なその評価方法とか、融度に対してもそうなんですけど、その評価手法自体がまだ成熟してないところがあるという課題があるという。
1:02:34	前提で考えれば例えばそういう外部事象であれば、例えばそのハザードの評価法に何か新しい新知見ですね新しい知見で取り入れたほうがいいものがあるれば、やったほうがいいということで、別にその大規模な工事をやった云々にかかわらず、
1:02:51	もしそういう知見があれば、そういう取り組みでやってみて評価をするっていうのは何か本筋の流れのような気がするんですよ。その辺の考え方はいかがでしょうか。
1:03:02	ソリューションの管理裾野をおっしゃられていることと思ったのかと思っておりまして、ただ、今回玄海の場合でいきますと、規模の工事であったり、評価指標の見直していうところでの該当する項目がなかったところではあります、例えば仙台のところで行きますと、第3回統計では、あの火山灰の層厚かというところで、
1:03:20	を設計上にも保守的な条件に見直したやり方といったことを実施しまして工事を行ってないにしろ評価を実施して改善策というのを、そしてしたりしております。
1:03:33	今回の玄海についてはそういうものがなかったの、実施しないというところなんです、屋根としては仰られているように工事だけでなくあの評価書といっ

	たところについても取り込んでいく考えで同じように思っております。以上です。
1:03:48	はい。わかりました。このやっぱり表現が行っていないためというふうに限定されて書かれると何かこういうこれしか考えてなかったんだからこの間にそういう新しい知見はなかったということがなっているが、ちょっとそういう誤解はないかなという、ちょっとこの方問題では一応確認させていただきました。
1:04:07	はい、ありがとうございます。
1:04:15	はい。原子力規制庁ミヤジマで、ほかに会議室から
1:04:19	はい、どうぞ。
1:04:23	すみません、規制庁ヌマタです。24 ページでちょっとコアの考え方を確認させていただけたかもあるのでお願いします。
1:04:35	24 ページの上の表の
1:04:39	三つ目のリスクモニターの話なんですけども、今回運転停止時のリスク管理の考え方を明確化されたということなんですけど。
1:04:49	前潜在的には運転中、
1:04:52	だけであったような記憶が私はあるんですけども、玄海と川内っていうのはもう基本的には、運転中及び運転停止中のリスクモニター。
1:05:03	整備しているのかそれとも全部整備している状況なのかとちょっと状況を教えていただけますか。
1:05:12	主力のテラサキです。
1:05:14	川内玄海、それぞれ運転時停止時のリスクモニターを整備しておりまして、運用を開始しているところです。以上です。
1:05:24	規制庁の渡すはそうすると、今回のこの停止時の取り組んだってことで、川内も玄海も運転中停止中のリスクの管理がPRAの結果が反映されたものがモニター異常で反映できるっていう理解でよろしいでしょうか。
1:05:45	九州電力のテラサキです。はい。ご存知の通りです。はい、ありがとうございます。PRAの結果が反映できているので、何か打ち合わせしました。以上です。
1:06:04	規制庁のままたびたびすいません。資料 1 のほうの 21 の外部評価の意見ということで、今回整えへとこの 21 ページの一番下の段だと火山灰に関して、今回等を評価されているということで、
1:06:21	来今後火山以外にも火山灰以外の評価にもとどまらず、継続的に取り組む期待するという意見がいただけるどうも外部評価でされているみたいで、その中でそれに対する対応として火山灰に限らず、その並べて向上に
1:06:39	しする活動をハザードに関して取り組んでいくということなんですけど、これも今、これ今の段階でハザード以外の火山灰前と地震津波それから火山灰とかあると思うんですが、竜巻とかです。ねこれ以外で考えて、
1:06:55	今、まじきその安全性向上評価の届け出考えられてる例えばハザード分野って具体的に何か終わりですか。
1:07:18	基準局の方向ずれずに、具体的には、

1:07:23	乗せる保護所には等ございまセンターの遅延と該当ページってなってるので。知見があれば反映していきたいと考えておりますけれども、
1:07:38	はい、わかりました。一応そのSG25の中に書かれてるものを参照しながらその知見が出たときに反映するということですね。はい、わかりました。
1:07:53	規制庁の宮島です。Web参加の方々から何かコメント、質問等ございますでしょうか。
1:08:04	規制庁ニシムラですけれども、
1:08:07	はい、お願いします。
1:08:08	資料2の
1:08:13	改善事項に対する取り組み状況についてということで1ちょっと1点コメントだけなんですけど。
1:08:20	先ほど儘田から質問があった10ページとかレベルでいうと、対応状況しろ。
1:08:29	この中身も最後は、
1:08:31	改訂の必要ないという表現はこれ10ページに限らず出てくるんですけど、ちょっとこれが何か気になるというか
1:08:42	印象として
1:08:45	す更迭しているのか、まだちょっと最終的には様々議論があるんだけれどもというのかよくわからないなというところがあるの記載内容に大きな変更がないということはまあいいんですけど。
1:09:01	何かその宿題でこういう議論をしているんですよ。届け出に反映するほどではないんですけどもっていうようなことを
1:09:09	書くことはできないんでしょうか。
1:09:30	九州電力の方向ずれす。このありがとうございます。アンサー一度は
1:09:38	大きな変更ないというところであるんですけど、けれども場所の検討とかっていうところは、
1:09:44	なっているところではありますので、そういった姿勢は見る前記載。
1:09:49	今まで及びへ出席の検討していきたいと思えます。
1:09:54	よろしくお願いいたします残れ届け出書本体じゃなくてただの他のところ規制庁側に御説明いただくような資料なので、もっと区長柔軟に
1:10:04	書いていただいてもいいのかなという個人的には思っているということですよ。よろしくお願います。
1:10:17	規制庁ヒダカです。
1:10:19	よろしいでしょうか。はい、よろしくお願います。はい。先ほど儘田のほうからハザードにどうに対する取り組みについて質問があったと思うんですけども。
1:10:31	3.11 ページのストレステストの中で、その御社独自のものとして台風、
1:10:39	に対して、
1:10:41	検討載せていたと思うんですけども。
1:10:44	そのようなハザードについてはどうお考えなんでしょうか。
1:11:03	九州電力の山北です。その他自然現象に対する安全裕度評価として、外帯空気に対しては評価をしておりますで五分もしくは6店舗竜巻に対する評価というのはやっております。

1:11:21	こちらのその他自然現象に対する評価としては、設定基準の規模を超えるハザードの規模として年超過確率でのマイナス 6 乗に相当するような規模のハザード想定して、そのときの発電所のへの影響というものを確認して、
1:11:38	をしております。
1:11:40	すいません御質問の答えになっておりますでしょうか。
1:11:47	ありがとうございます。今の話だと超過確率の観点から、台風は除外しているっていうことを
1:11:56	の営業日にイトウ酌み取れたんですけども、その考え方でよろしいでしょうか。
1:12:04	アクサ、九州電力のヤナギダです。待遇の作業が襲来した時に及ぼす影響として、発電所にはづいとか、
1:12:14	合併後は今日重複の影響が考えられると思ってまして、その三つの次長にへの
1:12:23	発電所の影響を確認することで、タイプの評価ができていると思っておりますほかの事象に包絡されるというところで評価をしてございます。
1:12:35	規制庁ヒダカです。ありがとうございます理解しました。
1:12:46	規制庁のミヤジマですとWEB参加の方々から御意見コメント。
1:12:51	ございますか。
1:13:06	はい、会議室からも追加のコメント、意見質問等ないので、今回の
1:13:16	今回の玄海 4 号機の安全性向上評価の概要についてのヒアリングはこれで終了させていただこうと思います。
1:13:24	それでは、ありがとうございました。